



“夢だった先生に…”

さとう みちこ
佐藤 迪子さん

毎月1回程度、りんりんのデイサービスでみなさんと一緒に唱歌を歌い、その歌についてお話をされる佐藤さん。穏やかで物腰は柔らかく、ソフトな声ながら口調ははっきり。ことにその語り口からは、まるで訛りが感じられないのだが、お話を聞いてびっくり。小学生の一時期を過ごしたのが愛媛県だったので、かなり強く訛っていたそう。半田市へ移転して6年生の時に、担任から自分の訛りを真似されたことが悲しくて、大きくなって先生になった時には、子供のことを笑うまい、と決心された。そもそも、最初に佐藤さんが先生になりたくなったのは、小学1、2年生の時。担任の先生が、子供たちが話す時には必ずしっかりその子を見つめ、頷きながら聴いてくれた。そのお姿に、自分もいつかああいう先生になりたいと思ったからなのだ。

そして、大学卒業後半田小学校に赴任し、9年間勤続された。子供たちとふれあいながら、美浜町布土小学校を最後に退職。

佐藤さんは、なかなか多才である。

幼い頃書道に出会い、今も流麗な仮名を書かれる。歌も好きで、半田の“コーロソナール”の一員として発表会にも出演。日本語の多彩な表現としての詩歌にも通じておられ、ことに万葉集にお詳しい。このことが、りんりんデイサービスでの佐藤さんのお話は楽しい、と利用者さんに言わしめる所以か。

りんりんとのお出会いは、10年ほど前にさかのぼる。岩滑ふれあいセンターの講座で歌を担当しておられた佐藤さんに、りんりんの初代理事長村上さんをお願いされて、りんりんにも足を運んでくださることになったのだ。この佐藤さんが「今こうして強く感じるのは、りんりんの方々とのご縁、ということなの」としみじみ言われる。(F)

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

りんりんのできごと

- りんごクラブ 1月 書初め・お抹茶をいただく
- 2月 駄菓子屋・お抹茶をいただく
- 3月 卒業生お泊り会・権現山遠足
百人一首大会・ボーリング大会<コロナ>



りんごびあであそび 2月8日 親子で餃子づくり

3月1日(木) りんりんデイサービスセンターで岩滑小“のぞみ学級”の子どもたちが 第3回 音楽発表会&劇をしました



「劇」ももたらう



利用者さんからのプレゼント

～ ヘルパー研修会 ～

- 1月 認知症予防講座 心と体のリフレッシュ …… 38名
- 2月 視覚障がい者支援 当事者の話 …… 37名
- 3月 今年度の振り返り・30年度に向けて …… 38名

多世代交流事業

	1月	2月	3月
生き生きサロン	63名	95名	91名
さをり織り	57名	67名	54名
絵手紙	20名	20名	21名

(H30/3月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
26名	114名	115名	255名

(H30/3月末現在)



「災害伝言ダイヤル利用について」

東日本大震災から7年がたちましたが、被災地では復興がまだまだ進んでいないのが現状です。半田市でも南海トラフ巨大地震（東海・東南海・南海の3連動地震）の発生率が高いといわれ防災・減災を考えていくことが必要と思われます。

りんりんでは、昨年度から「地域共生社会の実現にむけた地域包括支援体制構築の戦略」プロジェクト合同研究会に参加しています。その中で災害時に自助・共助という相互の助け合いの力をどのように生かすのか？という研究課題があり、りんりんでは何かできないか一緒に考えていきたいと思っています。

東日本大震災後は、訓練として、災害伝言ダイヤルを利用して協力会員への連絡方法を実践していましたが、サービス利用中の対応やご利用者への連絡はどうかなど課題も見えてきました。そこで災害時に通信が混み合い、つながりにくくなった場合に、ご利用者への連絡方法として災害伝言ダイヤルを使用してお伝えすることにします。

- ①「171」を押す→ガイダンス（手順）が流れる
- ②「2」を押す→ガイダンスが流れる→0569-32-6616を押す
メッセージは、「訪問介護はサービスを……います。」
「通所介護はサービスを……います。」
「学童保育はサービスを……います。」

など状況に応じてメッセージをいれます。毎月1日と15日に災害伝言ダイヤルの体験利用ができます。

りんりんでは5月から9月までの毎月15日にメッセージを入れますので、災害発生に備えて利用方法をぜひ体験していただきますよう、よろしくお願いいたします。

理事長 渡邊 千恵

蔵のまち 桃の節句



3月3日(土)天候にも恵まれ、半田赤レンガ建物で「まちひろ in 蔵のまち桃の節句」が開催されました。

“さをり織り”会員と手づくり小物グループ“やなべ小町”がマフラーや手袋、チュニックなどの衣料品や、かばん・ポーチなどの小物、手のひらサイズのひな人形や、軍手を利用した人形など、いろいろな作品を販売しました。

常連のお客様はもちろん、たくさんの方々に作品を手にとっていただき盛況のうちに終わりました。ご協力ありがとうございました。(I)



平成30年度年会費納付のお願い

年会費の納入時期になりました。会員の皆さま、今年度もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

年会費 3,000円

～ 新年度を迎えて～

新年度4月から、新1年生18名、新4年生2名、新5年生1名、新6年生1名を迎え総勢68名の大所帯となりました。

「りんごクラブって楽しいな！」

「りんごクラブにいと安心！」

親御さんが安心して送り出すことが出来、子ども達が楽しく“りんごクラブ”で過ごせるよう、ひとりひとりの気持ちに寄り添ったり、受け止めたりしながら、見守りたいと思います。

夏休み・冬休み・春休みなど長い休みにはみんなで勉強や遊び、イベントやお楽しみ、いろいろ出来るかも～。

みんな“りんごクラブ”で仲良く過ごしましょうね。(N)



権現山



権現山



ボーリング大会



お泊まり会

平成30年度総会のお知らせ

日時 5月27日(日)10時～12時

場所 りんりん事務所 1Fホール

賛助・協力会員の皆様、ご出席いただきますようお願いいたします。

子育ては地域の役割

～ゆめりんご閉鎖にあたり思うこと～

平成30年3月31日をもって、児童発達支援・放課後等デイサービス「ゆめりんご」を閉鎖いたしました。利用者の皆様には他事業所への移行等、大変ご迷惑をおかけし、また僅か2年あまりで閉鎖することを改めてお詫び申し上げます。今後は、放課後児童クラブ“りんごクラブ”の中でも受け入れができるよう努めてまいります。在籍くださった25名のかわいい子ども達から学んだことは、今後の子育て支援事業に必ず活かしてまいります。

りんごクラブは、桜の季節と共に新入所児童22名を迎え総勢68名でスタートしました。岩滑地域でのりんりんの役割も年々大きくなっていると実感します。子育てをしながら女性も働くことが当たり前の時代を迎え、また家族の形も様々で、家族以外の大人の力を借りながら、地域で子どもを育てたりする時代です。りんりんも岩滑小学校区の子育て支援拠点としての役割を担うことが必要と考えます。

長期休み中の学習支援「やなべっ子ハウス」に加え、毎週月曜日の学習支援、また毎月第一土曜日の「やなべっ子食堂」もスタートします。

半田中学校区の子育て支援拠点「ぴよぴよ」さんや、「やなべ子育てネットワーク連絡会」の皆さんとも力を合わせながら、“岩滑の子育て支援”を進めていきます。

りんごびあ管理者 下村 裕子



イオン“幸せの黄色いレシートキャンペーン”

平成29年度の“幸せの黄色いレシート”の合計が653,045円になりました。うち1%に相当する6,500円のイオンギフトカードがいただけることになりました。このギフトカードはりんごびあの備品に交換させていただきます。

りんりん会員の皆様、イオンのお客様、“黄色いレシート”をたくさんご投函いただき本当にありがとうございました。